

- (C)(2), 課題番号 13671965, 2004 年
- 2) 研究代表者 田中 礼: 顎・顔面領域における多列検出器 CT の臨床応用に関する研究. 2001 年 ~ 2004 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C)(2), 課題番号 13671964, 2004 年
- 3) 研究代表者 勝良剛詞: 癌・放射線治療による晩期有害事象のリスクファクターの特定と予防管理システムの考案. 2003 年 ~ 2004 年度科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 15791072-00, 2004 年.
- 4) 研究代表者 西山秀昌: 断面画像サブトラクション法による下顎動態 3 次元解析システムの構築. 2004 年 - 2005 年度科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号 16659518, 2004 年.

摂食・嚥下障害学分野

【論文】

- 1) Okayasu I, Yamada Y, Maeda T, Yoshida N, Koga Y, Oi K: The involvement of brain-derived neurotrophic factor in the pattern generator of mastication. *Brain Res*, 1016: 40-47, 2004.
- 2) Ariyasinghe S, Inoue M, Yamamura K, Harasawa Y, Kurose M, Yamada Y: Coordination of jaw and extrinsic tongue muscle activity during rhythmic jaw movements in anesthetized rabbits. *Brain Res.*, 1016(2):201-216, 2004.
- 3) Inoue M, Ariyasinghe S, Yamamura K, Harasawa Y, Yamada Y: Extrinsic tongue and suprahyoid muscle activities during mastication in freely feeding rabbits. *Brain Res.*, 1021(2):173-182, 2004.
- 4) Inoue M, Harasawa Y, Yamamura K, Ariyasinghe S, Yamada Y: Effects of food consistency on the pattern of extrinsic tongue muscle activities during mastication in freely moving rabbits. *Neurosci Lett.*, 368(2):192-196, 2004.
- 5) Ueda K, Yamada Y, Toyosato A, Nomura S, Saito E: Effects of functional training of dysphagia to prevent pneumonia for patients on tube feeding. *Gerodontology*, 21: 108-111, 2004.
- 6) Watanabe Y, Abe S, Ishikawa T, Yamada Y, Yamane G: Cortical regulation during the early stage of initiation of voluntary swallowing in humans. *Dysphagia*, 19: 100-108, 2004.
- 7) Mishima R, Kudo T, Tsunetsugu Y, Miyazaki Y, Yamamura C, Yamada Y: Effects of sounds generated by a dental turbine and a stream on regional cerebral blood flow and cardiovascular responses. *Odontology*, 92: 54-60, 2004.
- 8) Miyaoka S, Hirano H, Miyaoka Y, Yamada Y: Head movement associated with performance of mandibular tasks. *J. Oral Rehabil.*, 31: 843-850, 2004.
- 9) Asatsuma M, Ito S, Watanabe M, Takeishi H, Nomura S, Wada Y, Nakano M, Gejyo F, Igarashi A: Increase in the ratio of matrix metalloproteinase-9 to tissue inhibitor of metalloproteinases-1 in saliva from patients with primary Sjögren's syndrome. *Clinica Chimica Acta* 345: 99-104 2004.
- 10) Watanabe M, Asatsuma M, Ikui A, Ikeda M, Yamada Y, Nomura S, Igarashi A: Measurements of several metallic elements and matrix metalloproteinases (MMPs) in saliva from patients with taste disorder. *Chem. Senses*, 30(2): 121-125, 2005.
- 11) Kawahara Y, Hirano H, Saito Y, Yamada K: A novel system to measure head and trunk posture during daily activities. *J. Jpn. Soc. Stomatognath. Funct.*, 11(2): 9-16, 2005.
- 12) Yamada Y, Yamamura K, Inoue M: Coordination of cranial motoneurons during mastication. *Resp. Physiol. Neurobiol.* 2005 (in press).
- 13) Kurose M, Yamamura K, Noguchi M, Inoue M, Ootaki S, Yamada Y: Modulation of jaw reflexes induced by noxious stimulation to the muscle in anesthetized rats. *Brain Res.*, 1041(1): 72-86, 2005.
- 14) Miyaoka S, Hirano H, Ashida I, Miyaoka Y, Yamada Y: Analysis of head movements coupled with trunk drift in healthy subjects. *J. Medical & Biological Engineering & Computing*, 2005 (in press).
- 15) Fukushima S, Shingai T, Takahashi Y, Taguchi Y, Noda T, Yamada Y: Genesis of the decrement of intraluminal pressure in the UES during swallowing in rabbits. *Brain Res.*, 1044(1): 122-126, 2005.
- 16) 興地隆史, 福島正義, 吉羽邦彦, 小林 博, 葭原明弘, 星名秀行, 富沢美恵子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 客観的臨床能力試験 (OSCE) における概略評定の信頼性と妥当性 平成 15 年度本学歯学部 OSCE の解析. *日本歯科医学教育学会雑誌*, 20(1): 135-141, 2004.
- 17) 安島久雄, 小野和宏, 前田健康, 永田昌毅, 高木律男, 山田好秋, 興地隆史, 魚島勝美, 葭原明弘, 花田晃治: 歯学教育プログラムへの PBL 教育の導入 南カリフォルニア大学歯学部における実態調査. *日本歯科医学教育学会雑誌*, 20(1): 166-173, 2004.
- 18) 渡辺しき子, 平野秀利, 山田好秋: 腹臥位への体位

変換が脳活動および自律神経に及ぼす影響. 新潟歯学会雑誌, 34(2): 41-48, 2004.

- 19) 井上 誠, 山本啓司, 原澤陽二, 長谷川麻衣子, 中尾敦子, 山田好秋: 顎口腔顔面運動時のオトガイ舌筋の筋電図記録, 日本顎口腔機能学会誌, 11, 51-53, 2004.
- 20) 前新直志, 山田好秋: 発話速度刺激の変化が幼児の反応時間と復唱発話に及ぼす影響. 音声言語医学, 46(1): 1-9, 2005.
- 21) 前新直志, 山田好秋: 発話刺激における「間」の時間的变化が幼児の発話反応に及ぼす影響. 言語聴覚研究, 2(1): 13-20, 2005.
- 22) 伊藤加代子, 熊坂さつき, 渡辺礼子, 松木貴彦: 歯科と更年期女性, 更年期と加齢のヘルスケア, in press.

【著書】

- 1) 山田好秋: よくわかる摂食・嚥下のメカニズム(単著). 総142頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2004.
- 2) 五十嵐敦子: 味覚機能検査, 予防歯科実践ハンドブック, 38-39頁, 医歯薬出版株式会社, 2004.
- 3) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症の症例, 歯科臨床研修マニュアルアドバンス編, 永末書店, in press.
- 4) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症, プロストドンティクス, 永末書店, in press.
- 5) 山田好秋: 2) 咀嚼, 1. 総論, 顎口腔機能を診断する, 医歯薬出版株式会社, in press.
- 6) 井上 誠: 3) 嚥下, 2. 嚥下の生理, 3. 嚥下障害, 顎口腔機能を診断する, 医歯薬出版株式会社, in press.
- 7) 大瀧祥子: 3) 嚥下, 3. 嚥下障害, 顎口腔機能を診断する, 医歯薬出版株式会社, in press.

【商業誌】

- 1) 伊藤加代子, 野村修一: 口のかわきで悩んでいませんか?, オアシス21, 8月号, 16-17, 2004.
- 2) 五十嵐敦子, 渡部 守, 野村修一: 味覚と加齢変化, 総合臨床, vol 53, 2713-2718, 2004.
- 3) 大瀧祥子: 歯と口の健康, シリーズ , オアシス21 新潟県長寿社会振興財団新潟県高齢者総合相談センター総合情報誌 49: 16-17, 2004.
- 4) 五十嵐敦子, 伊藤加代子: お口のかわき, 気になりませんか?, バイタリティー, vol.265, 48-51, 2004.
- 5) 伊藤加代子, 野村修一: 要介護者への歯科治療のすすめ, 歯科保健だより, 第52号, 財団法人新潟県歯科保健協会, 2004.

- 6) 五十嵐敦子, 渡部 守, 野村修一: 特集 感覚器官の異常と診療 味覚の加齢変化. 総合臨床, 53, 2595-2736, 2004.
- 7) 伊藤加代子, 竹石英之, 浅妻真澄, 渡部 守, 五十嵐敦子: ドライマウス(口腔乾燥症)患者さんへの対応, エキスパートナース, 21(3), 2005.
- 8) 伊藤加代子, 野村修一: 在宅難病患者さんのドライマウスへの対応, 難病と在宅ケア, in press.
- 9) 松木貴彦, 伊藤加代子: 歯科医からみた Women's Health Program 前編, 性差と医療, in 2(4), 443-448, 2005.
- 10) 松木貴彦, 伊藤加代子: 歯科医からみた Women's Health Program 後編, 性差と医療, in 2(5), 443-448, 2005.

【研究成果報告書】

- 1) 井上 誠, 山村健介, 山田好秋: 三叉神経運動核周囲核の咀嚼運動時における機能的役割の解明に関する研究, 文部科学省科学研究補助金研究, 基盤研究(C)(2) 課題番号 14571760, 2005年.
- 2) 井上 誠: 物性の異なる飼料咀嚼・嚥下時における顎舌協調運動の調節機構 自由行動下における筋電図記録から細胞内記録まで, 平成15年度新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2004年.
- 3) 野村章子, 河野正司, 山田好秋, 野村修一, 植田耕一郎, 城斗志夫, 高橋肇, 相馬泰栄, 中澤孝敏, 佐々木聡, 丸山 満, 江川広子, 本間和代: グルテンをベースとした摂食・嚥下障害者用介護食の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(B)(2) 課題番号 14370629, 2005年.
- 4) 小林修平, 五十嵐敦子他: 高齢者の唾液分泌動態と服薬状況について, 厚生労働省科学研究補助金研究, H16-Iryo-001, 2005年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 山田好秋: 顎舌反射の中枢性変調機構. 日本顎口腔機能学会第32回学術大会. 日本顎口腔機能学会賞受賞講演. 福岡, 2004年4月17日, プログラム・事前抄録集, 10-11頁, 2004年.
- 2) 山田好秋: シンポジウム8「摂食機能障害の歯科的アプローチ」. 摂食嚥下障害に関わる神経機構と病態生理. 第20回日本歯科医学会総会, 横浜, 2004年10月30日, 日本歯科医師会雑誌, 57(4), 51頁, 2004年.
- 3) 伊藤加代子: 要介護者への口腔ケアの普及に向けて 病態別要介護者口腔保健医療ケアに係わる工程表の開発と評価, 日本口腔衛生学会甲信越・北陸地

- 方会, 新潟, 2004.7.24.
- 4) 田巻元子: 要介護者への口腔ケアの普及に向けて義歯治療および口腔ケア介入の効果, 日本口腔衛生学会甲信越・北陸地方会, 新潟, 2004.7.24.
 - 5) 伊藤加代子: 歯科と更年期女性, 第3回更年期と加齢のヘルスケア研究会, 東京, 2004.11.21.
 - 6) 伊藤加代子: 歯科と更年期女性, 統合医療展 2005, 横浜, 2005.1.22.
- 【学会発表】
- 1) Ogasawara M, Kajii Y, Fukushima S, Nakakuki H, Katsumata T, Egi M, Shingai T: Taste properties of the Maillard reaction products prepared from peptides with xylose. 14th International Symposium on Olfaction and Taste, Kyoto, July 5-9, 2004, ISOT/JASTS 2004 abstracts, p126, 2004.
 - 2) Watanabe M, Asatsuma M, Ikui A, Ikeda M, Yamada Y, Igarashi Ai: Salivary Matrix Metalloproteinases, Interleukins and Metallic Elements from Taste Disorder Patients. ISOT/JASTS 14th International Symposium on Olfaction and Taste, 38th Japanese Association for Taste and Smell, Kyoto, July 5-9, 2004.
 - 3) Hiroto T, Yoshihara A, Ito K, Igarashi A and Miyazaki H: Relationship between stimulated saliva and periodontal condition in community-dwelling elderly people. 83rd IADR, USA, 2005.3.12.
 - 4) 井上 誠, 山本啓司, 原澤陽二, 長谷川麻衣子, 中尾敦子, 山田好秋: 顎口腔顔面運動時のオトガイ舌筋の筋電図記録, 日本顎口腔機能学会第32回学術大会, 福岡, 2004.4.17.
 - 5) 梶井友佳, 真貝富夫, 高橋義弘, 福島伸一, 田口 洋, 山田好秋: Wistar fatty rat の味覚応答に対するレプチンの効果. 第81回日本生理学会大会, 札幌, 2004.6.3.
 - 6) 木島 寛, 真貝富夫, 高橋義弘, 梶井友佳, 福島伸一, 田口 洋, 山田好秋: 一酸化窒素(NO)による舌咽神経咽頭枝誘発性嚥下への影響. 第81回日本生理学会大会, 札幌, 2004.6.3.
 - 7) 井上 誠, 原澤陽二, 山村健介, 山田好秋: Tongue muscle activity during chewing and swallowing in man, 第81回日本生理学会大会, 札幌, 2004.6.3.
 - 8) 原澤陽二, 井上 誠, Sajjiv Ariyasinghe, 山村健介, 山田好秋: 自由行動下のウサギにおけるオトガイ舌筋の反射活動の変調, 第81回日本生理学会大会, 札幌, 2004.6.3.
 - 9) 田巻元子, 伊藤加代子, 豊里 晃, 野村修一: 要介護者に対する専門的口腔ケアの介入頻度による効果, 平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2004.7.10., 新潟歯学会雑誌, 34(2), 274, 2004.
 - 10) 伊藤加代子, 竹石英之, 浅妻真澄, 渡部 守, 船山さおり, 五十嵐敦子: くちのかわき(ドライマウス)外来患者の臨床統計, 平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2004.7.10., 新潟歯学会雑誌, 34(2), 275, 2004.
 - 11) 原澤陽二, 井上 誠, 山村健介, 山田好秋: 自由行動下のウサギにおける睡眠時オトガイ舌筋反射活動の変調, 平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2004.7.10., 新潟歯学会雑誌, 34(2), 278, 2004.
 - 12) 本間美和子, 岡田 淳, 野村修一, 山田好秋: ヒトの自由咀嚼時の嚥下に伴う舌骨動態の特徴, 平成16年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2004.7.10., 新潟歯学会雑誌, 34(2), 278, 2004.
 - 13) 藤井規孝, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 齋藤 功, 小野和宏, 山村健介, 中島貴子, 山田好秋, 宮崎秀夫, 前田健康: 新潟大学歯学部におけるFDワークショップの試み. 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟, 2004年7月1-2日, 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 31頁, 2004年.
 - 14) 大内章嗣, 大島勇人, 富沢美恵子, 福島正義, 山崎和久, 隅田好美, 小野和宏, 五十嵐敦子, 八木 稔, ステガロコ・ロクサーナ, 中島俊一, 山田好秋: 4年制歯科衛生士養成課程新入生に対する卒後進路希望等に関するアンケート調査. 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟, 2004年7月1-2日, 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 41頁, 2004年.
 - 15) 吉羽邦彦, 興地隆史, 富沢美恵子, 福島正義, 小林 博, 葭原明弘, 星名秀行, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 客観的臨床能力試験(OSCE)の信頼性の分析 課題「ラバーガム防湿」における検討. 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟, 2004年7月1-2日, 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 56頁, 2004年.
 - 16) 興地隆史, 福島正義, 吉羽邦彦, 小林 博, 葭原明弘, 星名秀行, 富沢美恵子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋: 概略評定の妥当性と信頼性に関する解析 新潟大学歯学部OSCEにおける検討. 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟, 2004年7月1-2日, 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 61頁, 2004年.
 - 17) 魚島勝美, 橋本明彦, 田中みか子, 杉田典子, 富田文仁, 長島克弘, 泉 直也, 前田健康, 山田好秋: 新潟大学歯学部における総合模型実習の試み. 第23回歯科医学教育学会総会・学術大会, 新潟,

- 2004年7月1-2日,第23回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集,67頁,2004年.
- 18) 加藤一誠,興地隆史,樋浦健二,小林哲夫,石崎裕子,魚島勝美,宮崎秀夫,山田好秋:臨床実習教育支援のための患者管理システムの開発.第23回歯科医学教育学会総会・学術大会,新潟,2004年7月1-2日,第23回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集,91頁,2004年.
- 19) 浅妻真澄,伊藤加代子,渡部 守,竹石英之,五十嵐敦子,野村修一:口腔乾燥症状に対するウェットケアの効果,第10回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会,新潟,2004.9.10-11,日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌,8(2),248,2004.
- 20) 大瀧祥子,真野直子,船山さおり,山田好秋:嚥下運動パターンの獲得不全症例の一例 嚥下造影検査所見の検討,第10回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会,新潟,2004.9.10-11,日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌,8(2),219,2004.
- 21) 高橋 肇,山田好秋,江川広子,野村章子,渡辺紀之,伊藤 彰:摂食嚥下困難者向け米菓の物性評価.第10回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会,新潟,2004.9.10-11,日摂食嚥下リハ会誌,8(2),203頁,2004年.
- 22) 林 豊彦,石田智子,村山 愛,中村康雄,山田好秋,道見登:ビデオX線透視装置との同時測定による嚥下運動計測システムSFN-1の性能評価.第10回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会,新潟,2004.9.10-11,日摂食嚥下リハ会誌,8(2),254頁,2004年.
- 23) 稲垣大悟,植田耕一郎,岩森 大,蘆田一郎,宮岡洋三,山田好秋:体幹角度と物性の変化が嚥下時ヒト舌筋活動に及ぼす影響.第10回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会,新潟,2004.9.10-11,日摂食嚥下リハ会誌,8(2),266頁,2004年.
- 24) 渡辺 裕,河合毅師,阿部伸一,井出吉信,山田好秋,山根源之:「飲みつらさ」とは 脳磁図計による検討.第10回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会,新潟,2004.9.10-11,日摂食嚥下リハ会誌,8(2),267頁,2004年.
- 25) 浅妻真澄,伊藤加代子,渡部 守,竹石英之,五十嵐敦子,野村修一:口腔乾燥症状に対するウェットケア!の効果,第10回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会,新潟,2004.9.10-11,日摂食嚥下リハ会誌,8(2),152頁,2004年.
- 26) 五十嵐敦子,伊藤加代子,浅妻真澄,渡部 守,竹石英之,野村修一:くちのかわき(ドライマウス)外来患者の臨床統計的検討,第15回日本老年歯科医学会,鹿児島,2004.9.19.,老年歯科医学,19(3),236,2004.
- 27) 田巻元子,伊藤加代子,豊里 晃,野村修一:要介護者に対する専門的口腔ケアの介入頻度による効果,第15回日本老年歯科医学会,鹿児島,2004.9.19.,老年歯科医学,19(3),202,2004.
- 28) 原澤陽二,井上 誠,山村健介,Mostafaezur Rahman,山田好秋:自由行動下のウサギにおける舌筋反射活動の睡眠相依存性の変調,第46回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会,広島,2004.9.24.,歯科基礎医学会雑誌,46(5):101頁,2004.
- 29) 金山隼人,加藤隆史,山村健介,山田好秋,中山美幸,栗原三郎,増田裕次,森本俊文:モルモットにおける咀嚼運動中の顎運動パターンの解析.第46回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会,広島,2004年9月23-25日,広島,J. Oral Biosci.,46(5),138頁,2004年.
- 30) 高橋 肇,渡辺紀之,伊藤 彰,山田好秋,江川広子,野村章子:咀嚼機能の低下した人向け米菓の物性評価.第15回日本咀嚼学会学術大会,東京,2004年9月30日-10月2日,日本咀嚼学会誌,14(2),102-103頁,2004年.
- 31) 五十嵐敦子,渡部 守,浅妻真澄,竹石英之,伊藤加代子,野村修一:味覚障害患者の臨床統計的観察,第20回日本歯科医学会,横浜,2004.10.29.,日本歯科医師会雑誌,57(4)417,2004.
- 32) 岡田 淳,本間美和子,野村修一,山田好秋:ヒトの自由咀嚼運動中における摂食動態および二つの嚥下反射の特徴,新潟,2004.11.13.,新潟歯学会雑誌,34(2),290,2004
- 33) 杉田佳織,五十嵐敦子,谷口裕重,井上誠,山田好秋:食品の硬さが嚥下しやすさに与える影響,平成16年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2004.11.13.,新潟歯学会雑誌,34(2),290,2004.
- 34) 工藤卓奥,三島理穂,山村千絵,山田好秋:歯科治療を不快と感じている人と不快ではないと感じている人における音刺激に対する生理的反応の差異,平成16年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2004.11.13.,新潟歯学会雑誌,34(2),291,2004.
- 35) 定方美恵子,平野秀利,山田好秋:冷え性該当者における温度感覚・皮膚温特性 自覚症状に基づく該当分類による比較,平成16年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2004.11.13.,新潟歯学会雑誌,34(2),291,2004.
- 36) 渡部 守,浅妻真澄,山田好秋,野村修一,五十嵐敦子:味覚障害患者唾液中の微量金属元素と金属プロテアーゼ,平成16年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2004.11.13.,新潟歯学会雑誌,34(2),292,

2004.

- 37) 稲垣大悟, 植田耕一郎, 岩森 大, 蘆田一郎, 宮岡洋三, 山田好秋: 体幹角度と食品物性が舌筋活動に及ぼす影響, 新潟医療福祉学会学術集会, 新潟, 2004.11.13, 2004年.
- 38) 佐藤 隆, 片山 修, 河内 博, 河野正司, 野村修一, 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 大内章嗣: 要介護認定申請者の口腔内の実態と要介護者への義歯治療の効果について, 第8回新潟栄養・食生活学会, 新潟, 2004.11.27.

【その他】

- 1) 伊藤加代子: 北蒲原郡社会福祉協議会, 村上健康福祉事務所, 新発田健康福祉環境事務所: 介護のための口腔ケア研修会: 食べる楽しみいつまでも~ 摂食・嚥下のしくみと食事介助のポイント~, 荒川町保健所, 2004.2.23.
- 2) 山田好秋: 嚥下理解のための解剖と生理. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会公認 摂食嚥下リハビリテーションセミナー ~ 「口のリハビリテーション」のすすめ~, 高知, 2004.6.26.
- 3) 伊藤加代子: 聖籠町役場保健福祉課: 要介護者の摂食・嚥下のしくみと口腔ケア, 聖籠町役場, 2004.7.23.
- 4) 本間美和子: 新潟大学医歯学総合病院 NST (栄養サポートチーム) 勉強会, 新潟, 2004.8.2
- 5) 伊藤加代子: 第10回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術集会ランチョンセミナー, キッセイ薬品, 朱鷺メッセ, 「ドライマウスと摂食・嚥下 口腔内湿潤の重要性」2004.9.10.
- 6) 稲垣大悟: 桑名病院口腔ケア講習会, 新潟, 2004.10.15.
- 7) 大瀧祥子: 摂食・嚥下機能障害と口腔ケア, 阿賀北老年医学懇話会, 新潟, 2004.11.22.
- 8) 稲垣大悟: とやの中央病院摂食・嚥下及び口腔ケア講習会, 新潟, 2004.10.26.
- 9) 伊藤加代子: 要介護者口腔ケア関係者研修会: 摂食障害要介護者用標準工程表(クリニカルパス)について, サン・ワークしばた, 2004.12.2.
- 10) 本間美和子: 口腔ケア研究会, 新潟, 2004.12.3.
- 11) 伊藤加代子: 北蒲原郡社会福祉協議会, 村上地域振興局健康福祉部, 新発田地域振興局健康福祉環境部: 介護のための口腔ケア研修会: 摂食障害要介護者用標準工程表(クリニカルパス)について, 荒川町保健センター, 2004.12.20.
- 12) 井上 誠, 隅田好美: 高齢者の口腔ケア, 中越大震災による被災者支援事業 元気出していこう教室, 長岡, 2005.2.16.
- 13) 大瀧祥子: 摂食・嚥下機能障害と口腔ケア, 阿賀北老年医学懇話会, 新潟, 2004.11.22.
- 14) 大瀧祥子: 障害者の摂食機能向上を目指して, 西新潟中央病院摂食機能に関する研修会, 新潟2004.12.8.
- 15) 伊藤加代子, 竹石英之, 浅妻真澄, 渡部 守, 船山さおり, 五十嵐敦子, 野村修一, 山田好秋: 最近のトピックス くちのかわき(ドライマウス) 外来における初診患者の臨床統計的検討. 新潟歯学会誌, 34(1): 59-61, 2004.
- 16) 稲垣大悟: 文献紹介, Effects of Cuff Deflation and One-Way Tracheostomy Speaking Valve Placement on Swallow Physiology, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 8(1), 2004.

歯科侵襲管理学分野

【著書】

- 1) Kenji Seo, Yutaka Tanaka, Makoto Terumitsu, Genji Someya: How do Japanese patients express claims of numbness as a postoperative complication of orthognathic surgery?, Dentistry in Japan, 41:124-129, 2005.

【論文】

- 1) Kenji Seo, Naoshi Fujiwara, Kiichi Takeuchi, Takeyasu Maeda, and Genji Someya: Postnatal Development of Excitation Propagation in the Trigeminal Subnucleus Caudalis Evoked by Afferent Stimulation in Mice, Neuroscience Research (Accepted).
- 2) Megumi Aita, Kenji Seo, Naoshi Fujiwara, Ritsuo Takagi, and Takeyasu Maeda: Postnatal changes in the spatial distributions of substance P and neurokinin-1 receptors in the trigeminal subnucleus caudalis of mice, Developmental Brain Res, 155, 33-41, 2005.
- 3) Kenji Seo, Yutaka Tanaka, Makoto Terumitsu, and Genji Someya: Characterization of different paresthesias following orthognathic surgery of the mandible, Journal of Oral and Maxillofacial surgery, 63, 298-303, 2005.
- 4) Kenji Seo, Yutaka Tanaka, Makoto Terumitsu, and Genji Someya: Efficacy of steroid treatment on sensory impairment following orthognathic surgery, Journal of Oral and Maxillofacial surgery, 62, 1192-1196, 2004.
- 5) 瀬尾憲司, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 染矢源治: 顔面神経麻痺と顔面の痺れが同時に認められ